

はじめに

次代を担う子どもたちが心豊かに、健やかに成長することは、親にとっても社会にとっても大きな願いであり、いきいきした子どもたちの歓声やしぐさは、私たちに勇気や元気・安らぎや温かさを与えてくれます。

しかし、結婚や出産に関する価値観の変化、晩婚化、夫婦の出生児数の減少による核家族化、地域における子育て力の低下などを要因にして少子化は年々進行すると予想されております。

少子化の進行は、社会経済全体に極めて深刻な影響を与えるものであることから、国、地方公共団体及び企業が一体となって10年間に集中的・計画的な少子化対策を推進するための「次世代育成支援対策推進法」が平成15年7月に制定されました。

登別市においても、市民や教育・福祉関係者と協働で、今後の推進施策や推進体制など必要な事項を総合的・体系的に明確化し、登別市総合計画の基本理念である「安心して子どもを生み、健やかに育てる環境づくり」に沿ったまちづくりが実現できるよう、「登別市次世代育成支援行動計画」を策定したものであります。

少子化対策は行政が特定の施策を展開することにより解決するものではなく、市民や行政、地域社会全体が連携・協働して子どもを健やかに成長できる環境や安心して子育てできる環境づくりに取り組み、進めていくことが最も重要であります。

この計画により、子どもを育てる、子どもを育てて良かった、また育てたいと伝えられる社会がつくられるよう願っております。

おわりに、この計画書作成にあたり、ご協力いただいた策定委員の皆様をはじめ、関係者の方々に厚くお礼申し上げます。

平成17年3月

登別市長 上野 晃